

# 新年

# 謹賀

**明** けましておめでとう  
ございます。新春を  
迎えるにあたり、町  
民の皆さまのご健康とご多幸  
をお祈り申し上げます。

昨年の令和2年7月豪雨  
で、熊本県南地域を中心とし  
た未曾有の災害に見舞われ、  
町内でも甚大な被害を受けま  
した。現在、町民・関係者皆  
さまのお力添えで、着実に復  
旧・復興への歩みを進めてお  
ります。そして、全国から温  
かいご支援に心から感謝申し  
上げます。この災害を乗り越  
え、町民の皆さまが一日も早  
く安心して生活を送ることが  
できますよう、防災・減災対  
策、情報発信体制の強化など、  
災害に強いまちづくりに鋭意  
取り組んでまいります。

昨年は全世界で新型コロナウイルス  
ウィルスが猛威をふるった年  
でもありました。全国では東  
京都、愛知県、大阪府などの  
大都市地域や北海道を中心  
に、1日あたりの新規感染者  
数が過去最高を更新し、第3  
波が今まさに襲来している状  
況です。3つの基本「人との  
距離の確保」「マスクの着用」

「こまめな手洗い」などの感  
染防止対策の徹底に加え、「飲  
酒を伴う懇親会」「大人数・  
長時間におよぶ飲食」「マス  
クなしでの会話」「狭い空間  
での共同生活」「居場所の切  
り替わり」といった、感染リ  
スクが高まる5つの場面に注  
意していただくなど、感染か  
ら身を守る行動をお願いいた  
します。

課題である少子高齢化、就  
労者人口の減少は止まらず、  
町の財政状況はより一層厳し  
さを増しております。新型コ  
ロナウィルスの影響もあり、  
地域の住民生活や経済活動は  
大きな打撃を受けました。そ  
の状況に立ち向かうために  
も、町活性化に向けた地方創  
生の施策を強化しつつ、この  
地に根ざした持続可能なまち  
づくりに挑戦していく所存であ  
ります。

最後に、皆さまが町に愛着  
と誇りを持ち、夢のある郷土  
を目指したまちづくりを進め  
てまいりますので、皆さまの  
ご支援、ご協力をお願い申し  
上げ、新年のあいさつといた  
します。

**皆** さま明けましてお  
めでとうございま  
す。令和3年の年  
頭にあたり、町議会を代表し  
て新年のごあいさつを申し上  
げます。

町民の皆さまにおかれまし  
ては、希望に満ちた新年をお  
迎えのことと心からお慶び申  
し上げます。日頃から町政の  
発展と議会運営に対して、深  
いご理解とご支援をいただき  
心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新  
型コロナウィルスのまん延  
で、緊急事態宣言が発出され、  
普段の生活様式が一変するこ  
とになりました。7月には線  
状降水帯の長時間にわたる停  
滞により、熊本県南を中心に  
甚大な被害が発生し、本町に  
おいても死者3人、公共施設・  
農林水産業施設・家屋などに  
未曾有の被害をもたらしまし  
た。ご遺族の皆さまに、哀悼  
の意を表しますと共に、被災  
された方々に心からお見舞い  
申し上げます。

新型コロナウイルス対策な  
らびに、7月豪雨災害の復旧  
関連予算などの影響により、

令和2年度一般会計では例年  
の倍以上となる60億円超の財  
政支出がなされ、今後財政状  
況の悪化が予想されます。

議会といたしましては、こ  
うした状況の中ではあります  
が、新型コロナウイルスの終  
息、災害からの一日も早い復  
旧・復興を図ると共に、一次  
産業振興・少子高齢化対策・  
防災減災による「安全・安心  
なまちづくり」を実現するた  
めに、行政・住民と協力しな  
がら尽力してまいります。

町議会では、議員のなり手  
不足解消のため、昨年から町  
民との討論の場を設け、議会  
活動を活性化し、町民の議会  
への理解を深めるため、議会  
改革特別委員会を設置し、議  
会改革に取り組んでいます。  
今後改革を推進し、町民の意  
見を町政に反映させ、「町民  
の福祉向上」と「町政発展」  
に寄与していく所存であり  
ます。

結びに、新年が皆さまにと  
りまして、実り多き年であり  
ますと共に、皆さまのご健勝  
とご多幸を心から祈念申し上  
げ、あいさつといたします。



津奈木町長  
山田 豊隆



津奈木町議会議員  
川野 雄一